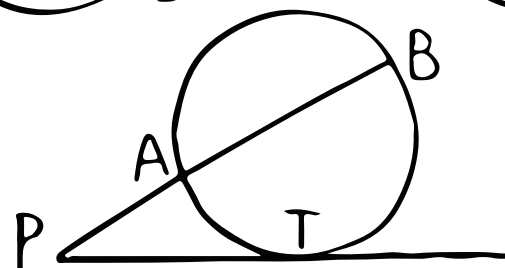
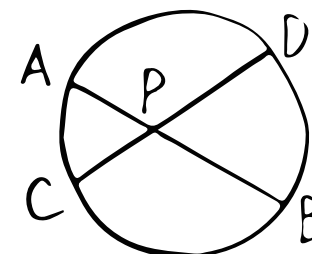
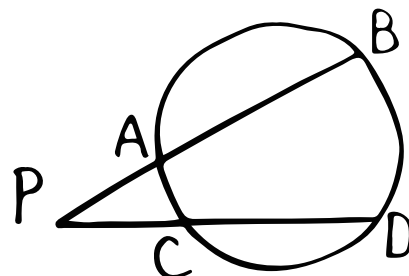


## 数A(方べきの定理①)

① 点Pを通る2直線が、円Oとそれぞれ  
2点A、Bと2点C、Dで交わる時、

①  $PA \cdot PB = PC \cdot PD$  が成り立つ。

点Pを通る2直線の一方が、円Oと  
2点A、Bで交わり、もう一方が点Tで  
接するとき、②  $PA \cdot PB = PT^2$  が成り立つ。



② 下の図でxを求めよう。ただし、Tは接点とする。

